

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5127 文化とアイデンティティ			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	150
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜4限				
教室	D204教室				
代表教員	角尾 宣信				
担当教員	角尾 宣信				
テーマと到達目標	自分は何者か？ 普段、この問いをもつ人はあまりいないかもしれません。そして、自分は何者か、自分のアイデンティティが何か、分かっているからこそ、安心して生きていくことができます。でも、自分は何者か分からなくなったら、？ 本授業では、自分は何者を問い直すとともに、自分らしさを支える様々な文化的なものの機能を考察し、より柔軟な自分らしさを探求します。				
概要	本授業は、2種類の内容を組み合わせた授業で構成されています。一つは、「日本」文化や「日本人」というアイデンティティを構成する歴史や政治的状況を認識するとともに、その他の文化やアイデンティティのあり方を考察する授業です。これらの授業では、前近代と近代の服飾文化や入浴文化、映画やドキュメンタリーなどの映像資料、また写真や漫画などの画像資料を取りあげます。もう一つは、文化やアイデンティティ、またそうした文化的コンテンツを社会に流通させるメディアを批判的に検討するための理論的枠組みを扱う授業です。こちらでは、精神分析・フェミニズム・クィア理論などをとりあげます。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	なんで私はこの名前なの？ ―文化とアイデンティティの関係性				対面授業
第2回	「文化」を演じる天皇―近代国家の「文化」創造				対面授業
第3回	混浴は不道德か？ ―近代国家の「文化」排除				対面授業
第4回	「アイデンティティ」が演じられるとき ―近代の性道徳とジェンダー				対面授業
第5回	トランスジェンダーとアイデンティティ ―クィアな可能性に向けて				対面授業
第6回	この体はいつから「私」のもの？ ―ラカンによる鏡像段階				対面授業
第7回	「私」の身体と愛と憎しみ―鏡像関係における愛憎				対面授業
第8回	帝国主義国家における鏡像関係―風刺画をめぐる（欧米編）				対面授業
第9回	帝国主義国家における鏡像関係―風刺画をめぐる（日本編）				対面授業
第10回	純然たる「日本人」 ―戦時中のその希求と自滅				対面授業
第11回	文化もアイデンティティも喪失して、、 ―敗戦と「皇軍兵士」の挫折				対面授業
第12回	文化とアイデンティティの再構築―「皇軍兵士」から「サラリーマン」へ				対面授業
第13回	戦時中と敗戦後のはざま―「虚脱」の可能性				対面授業
第14回	超高齢社会の文化とアイデンティティ ―「認知症」の可能性				対面授業
第15回	ふり返り ―あなたは何になる？ 文化とアイデンティティの生成変化へ向けて				対面授業
成績評価の基準	定期的な小レポート（200字以上。提出方法等は初回授業で指示）と、学期末レポート（課題内容や提出方法等は後半の授業回で指示）により、成績評価します。出席はポータルでの登録により管理しますが、欠席が6回以上の者は単位認定しません。また、インターネット上等から複製した文章を出典明記せず記載した回答は、一回でも「剽窃行為」として不可、複数の者が同文の回答を提出した場合も全員を不可とします。				
履修にあたっての留意事項	・小レポート、期末レポートにおいては、チャットGPTの使用を禁止します。発覚した場合は呼び出し、または不可とします。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	T学科				

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし		
教科書	各授業で資料を配布します。また、映像や音声資料に関しては、授業中に抜粋部分を観賞し、議論します。	教科書(ISBN)	
参考文献	各授業で指示します。	参考文献(ISBN)	